

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 25日は、東北地方から三陸沖へ高気圧が移動し、日本の東から先島諸島付近へ前線がのびる。
- 26日から27日にかけては、高気圧が日本のはるが東へ移動する。低気圧が本州の南岸を東へ進む。東シナ海には高気圧が移動する。
- 28日から29日にかけては、低気圧が中国東北区から日本海北部へ進み、前線が北日本付近に進む。華中から東シナ海に別の前線がのびる。

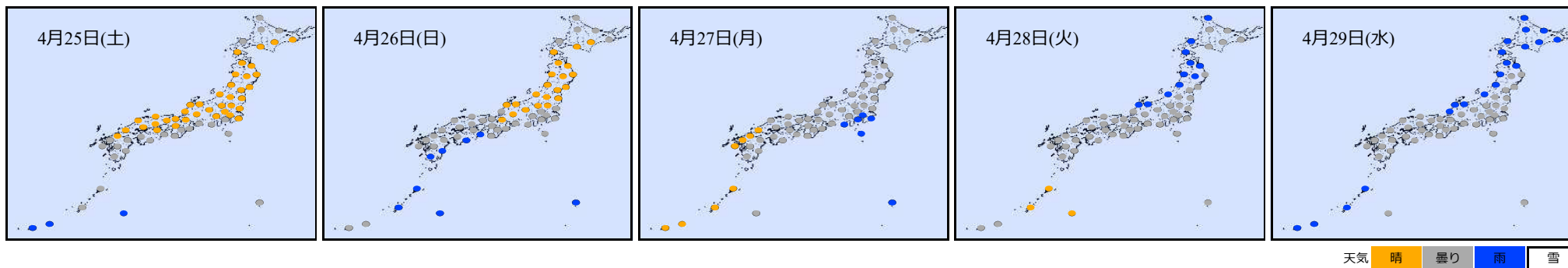
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

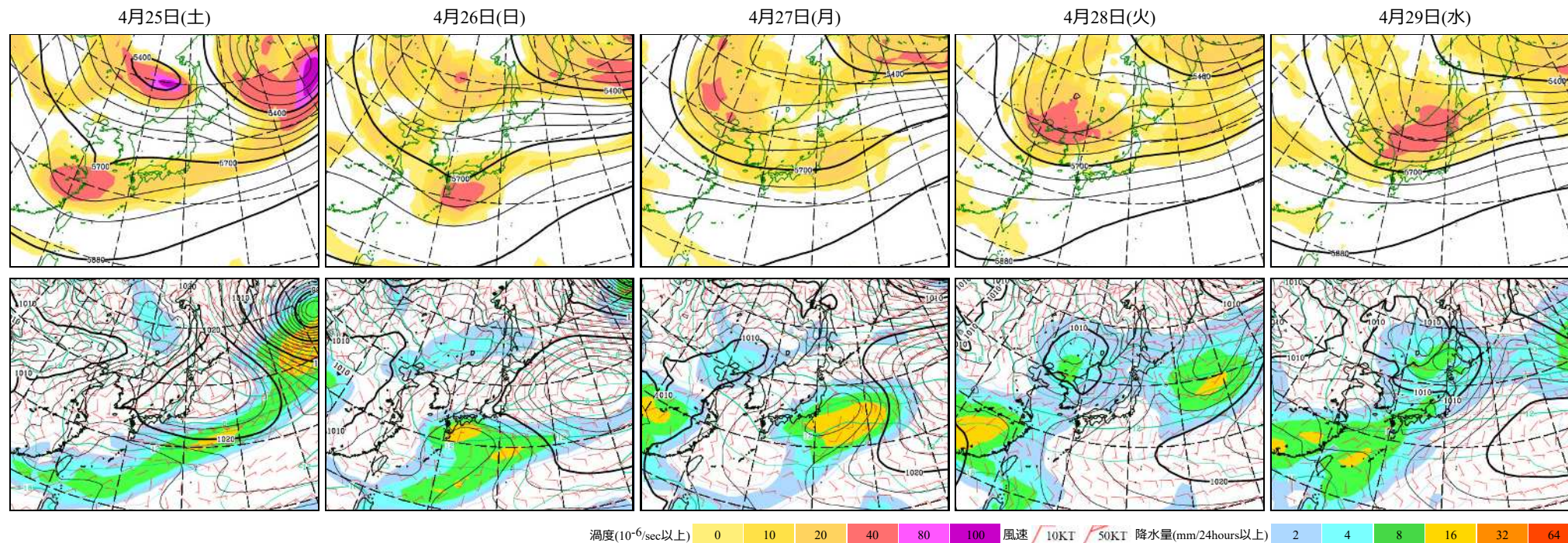
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

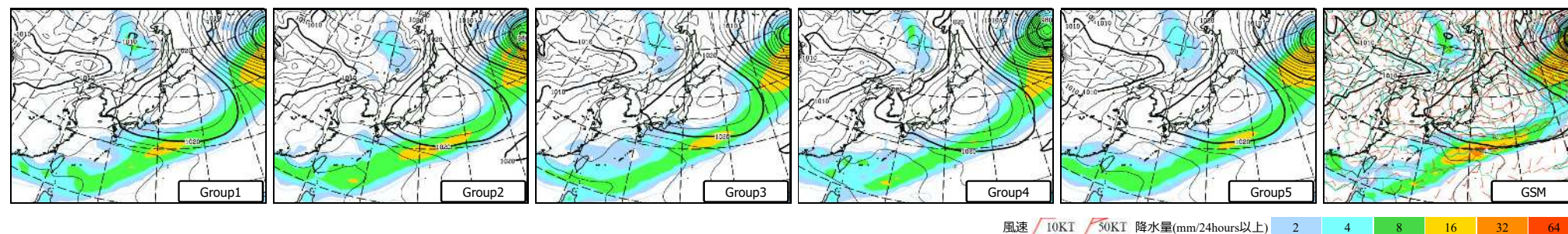


- 北・東日本は、25日と26日は晴れる所が多いが、その後は雲が広がりやすく、雨の所もある。
- 西日本は、曇りの日が多いが、25日と27日は晴れる所もある。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の日が多いが、27日と28日は晴れる所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月25日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、25日から27日に中国東北区から日本の東へ進む5400m~5700m付近のトラフと、その次に28日から29日に華北から日本海へ進むトラフの進みが早まった。
- アンサンブルメンバーのバラつきとしては、26日まではモデル間の差は小さいが、27日以降に日本の東から日本のはるか東へ進む低気圧の位置や強さ、28日以降に中国東北区から日本海北部に進む低気圧の位置の違いが徐々に大きくなる。スプレッドは29日にかけて徐々に大きくなる。
- 特定高度線は、5400mは28日以降にバラつきが大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。28日以降はGSMや海外モデルも参考にする。